



© 平岩享



アーティストトーク

《多田淳之介さん編》



日本の現代演劇シーンを牽引する演出家の多田淳之介さんは、鋭い問題意識と斬新な演出で、観る者を覚醒させる作品を次々と発表しています。また、国際的には韓国などの共同制作やアジアのアーティスト同士が交流する環境づくりにも取り組まれています。一方で、地方公立劇場の芸術監督を務めたり、市民と地域社会の課題に向き合い、ワークショップや市民参加作品なども手掛けています。

まずは多田さんのこれまでの活動を聞き、福岡の演劇のこれから、地域とのつながりなどを考えていけたらと思っています。

市民参加作品やワークショップを同じく全国各地で実施されている有門正太郎さんを進行役に、わたしたちの地域で演劇ができること、活動の悩みなどなど、ざっくばらんにお話ししましょう！



日時：2023年2月11日(土)19:00～21:00

会場：SRギャラリー 福岡市中央区大名1-14-28 第一松村ビル201号(旧紺屋2023)

参加費：無料

申込先：<https://ssl.form-mailer.jp/fms/3946e356769461>



申し込みフォーム

多田淳之介
演出家・東京デスロック主宰。古典や現代戯曲、ネット上のテキストなど様々な題材を演劇作品として上演する。"演劇LOVE"を標榜し、国際・教育・地域を活動の柱として海外公演や国際共同制作、学校でのコミュニケーション授業、公共劇場の芸術監督や自治体のアートディレクターとしてアートを活用したまちづくり、人材育成、こどもや親子向けのプログラムなど、幅広い演劇活動を展開する。

有門正太郎
演出家・俳優、有門正太郎プレゼンツ主宰/北九州市出身。倉本聰主宰「富良野塾」、泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て、2005年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。「笑顔になれば何でも出来る」を合い言葉に作、演出も務め全国でワークショップやアウトリーチ活動も行っている。俳優では様々な全国ツアー公演等に参加。高校演劇専科での講師経験を活かし、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプ～チャレンジ! えんげき～」の総合演出等も務める。